大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康に係る支援に関すること。

１．新学期、新学年のオリエンテーションの実施

◆歯科衛生学科

新入生には入学直後のオリエンテーションで、歯科衛生士についての心構えや科目の履修指導・登録、単位や資格等の説明、学友会紹介などが行われますが、実際に学生生活に対する不安を解消するため、新入生研修会（日帰り旅行：例年入学式の週か次週の金曜日）を行っています。引率は、学科長、学年担任で、これからの 3 年間を有意義に送ることができるよう、授業や実習に関して、助言班単位による懇談形式での本音トークを交えた楽しいひと時を過ごします。近年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となっていますが、研修会を中止とした分、学内でのオリエンテーションを充実させて行っています。

また、各学年においても当該年次科目や重要事項の説明等、安心して新学年を迎えられるようオリエンテーションを行っています。2 年次生に対しては、介護職員初任者研修の必要性と資格取得方法、3 年次生では臨床・臨地実習、卒業研究、国家試験対策や卒業試験のための説明等が行われます。

【平成 31 年度　新入生研修会（福岡県立社会教育総合センター】

集合写真

グループワーク

レクリエーション

※近年は新型コロナウイルス感染症への対応により中止

また、本学では一人暮らしの学生が多いため、新入生に対して早良警察署生活安全課の方による「防犯教室」を例年 4 月に実施します。内容は、「自らの安全は自らが守る」という防犯の心得等の特別講義や警察署作成の DVD の上映です。新入生には、防犯ブザーの配布も行っています。

【防犯教室の開催】

防犯教室

真に迫る DVD の上映

２．学修支援として基礎学力が不足している学生に対する補習授業等について

定期試験等の結果、基礎学力が不足している学生については、教育支援・教学ＩＲ室や学務・ＦＤ委員会で検討し、各学年担任の統括のもと、課外時間（主に放課後）を利用して補習を行っています。また、2 年次および 3 年次においては国家試験に対応するために基礎テストや臨床テストを定期的に実施

し、同様に補習を行うなど、学生の基礎学力アップと国家試験合格に向けた手厚い指導を行い、国家試験の全員合格を目指しています。課外時間の補習には、本学専攻科生が、TA（ティーチングアシスタント）として自らの経験を活かし、学習指導を行います。

３．学生の健康管理の支援について

例年４月中旬に、キャンパス内で健康診断を実施しています。再検査等が必要な場合には、同じキャンパスにある福岡歯科大学医科歯科総合病院の内科で対応しています。また、Ｂ型肝炎ワクチン接種やインフルエンザ予防接種、また、近年では新型コロナウイルスワクチン接種を積極的に実施しています。

軽度の体調や気分不良の学生に対しては、保健室のベッドで休養させますが、容態や症状によっては教職員が保護者と連絡を取るとともに、学園内の医科歯科総合病院での受診対応を図り、日常生活での健康管理を含めた支援を行っています。

令和４年７月には、前出の医科歯科総合病院や学園内のクオール薬局、博多駅前にある口腔医療センターでの医療費（自費診療を除く）を短大が全学負担する体制を整え、さらに、学園３大学の学生全員の健康をサポートする保健管理センター（仮称）も完成し、健康管理の支援を更に充実させます。

４．学生の学修上の問題、悩み等に対する指導助言のための取り組みについて

学年担任の他に､両学科ともに各学年5～9名の学生に対して１名の教員が助言教員として配置され、学生の学修や生活上の相談のためにオフィスアワーを設けています。

【令和４年度　オフィスアワー】

田口　智章 学　長	月曜日	16:30～18:00			
松尾　忠行 教　授	月曜日	16:30～18:00	中園　栄里 講　師	水曜日	16:30～18:00
力丸　哲也 教　授	水曜日	16:30～18:00	石井　綾子 講　師	月曜日	12:10～13:00
古野みはる 教　授	水曜日	16:30～18:00	南　レイラ 講　師	月曜日	12:10～13:00
泉　喜和子 教　授	火曜日	16:30～18:00	井上　庸子 講　師	水曜日	16:30～18:00
堀部　晴美 教　授	水曜日	16:30～18:00	川尻　　望 助　教	月曜日	12:10～13:00
後藤加寿子 准教授	月曜日	12:10～13:00	森　沙耶香 助　教	水曜日	16:30～18:00
秋竹　　純 講　師	水曜日	16:30～18:00	高木未沙稀 助　手	火曜日	12:10～13:00
黒木まどか 講　師	月曜日	16:30～18:00			

※非常勤講師への質問等は講義終了後に、兼任講師への質問等は講義終了後または口腔歯学部本館等でも質問できます。

また、「学生相談室」を学内に設置し、専門資格（公認心理師、精神保健福祉士）を有する教員が学生の悩みの相談に対応します。さらに、令和４年７月には前出に記載の保健管理センター（仮称）が完成し、専門のカウンセラー（心療内科医師、臨床心理士）が学生の悩みの相談に対応します。また、ハラスメントに関しては、ハラスメント相談員を配置し対応しています。

学修上の問題で悩みを抱えた学生は、授業担当者だけでなく学年担任、助言教員に相談する場合もあるので、学年担任や助言教員はお互いに連携を取り合うようにしています。また、種々の問題をかかえた学生に対しては、学務・ＦＤ委員会や教授会において全学的に対応する体制をとっており、学年担任のみならず、全教職員で学生を支援することを柱としています。成績や出席状況は学年ごとに掲示するとともに、年に２回程度保護者に郵送しています。さらに、成績不振や欠席の多い学生については、その都度保護者招致を行い面談しています。

５．進度の早い学生や優秀学生に対する学修上の配慮や学修支援について

3 年次生では専攻科生と共に、国際交流の一環として海外研修への参加を促しています。また、規定の臨床・臨地実習終了後も希望する専門診療科で実習を行うことができる体制を整えています。

専攻科で行われる海外研修の目的は、海外の最新の歯科医療と確立された専門性の高い歯科衛生士教育に直接触れることにより、自らの職業意識と国際感覚の涵養を目指す目的で 1 期生より実施（15 年度からは本学科 3 年次生も参加）しています。研修では、歯科衛生士養成学科を擁する大学や近郊のデンタルオフィス（小児歯科、矯正歯科など）などの医療機関での研修・見学を行っています。研修中の生活は、学生 2～3 名が各ホストファミリー宅にホームステイする形式をとり、日常生活を共にする中で英会話の修得や地域住民との交流を図る研修になっています。また、近年は、開発途上国での歯科医療支援にも参加し、現地の子供に歯磨き指導等を行っています。

【令和元年度　海外研修旅行（アメリカ西海岸）】

モレノ・バレー・カレッジにて

開業歯科医院の見学

ロマリンダ大学にて

研修の合間の楽しい観光旅行

フィリピンでの歯科医療支援（歯磨き指導・口腔内チェック）

６．学生生活を支援するための組織や体制の現状について

本学では学生生活を支援するための体制として、主に教授会、学務・ＦＤ委員会が組織され、その他学年担任制や助言教員制度を設けています。日々の学生指導および厚生補導の学生支援体制は、学年担任の主導のもと、助言教員および事務課職員が連携しながら全教職員で対応しています。

学年担任や助言教員をはじめとする教職員からの年間の行事や開催スケジュール、指導支援内容などの提案がなされ、学務・ＦＤ委員会を経て、教授会において審議します。その上で全教員にフィードバックし、事務課職員のバックアップのもと、教職員全員で学生指導、支援に当たっています。主な内容としては、年度初めのオリエンテーションの実施内容、前期・後期の講義・実習等に関する取組の検討、そのほか学友会、学生後援会、学園祭、研修旅行、海外研修、謝恩会、駐輪・駐車指導、生活態度、マナーの指導など多岐にわたり、常に学生のニーズに反映した取組を心がけています。

７．クラブ活動の現状、学友会の現状、学園行事（学園祭等）の実施の状況について

クラブ活動に関しては、福岡歯科大学の文化系・体育系のクラブに所属し活動しています。

ダンス愛好会

バレーボール部

バスケットボール部

弓道部

歯科衛生学科には平成 25 年度に「ダンス愛好会」ができ、学園祭でもダンスを披露しました。

学園行事としては、例年 5 月頃に体育祭、10 月に学園祭が、本学と学園グループ校の学友会との共催で企画・運営され、全学生が主体的に参画できる活動の機会となっています。近年、全国的に大学における体育祭や学園祭などの学園行事への学生の参加者が減少している風潮の中、本学では学生および教職員参加による行事と位置づけ、学園祭では３年次による展示や各年次による模擬店を出展します。学年の枠を越えて学生が協力し合い、特徴を生かした地域住民への歯科保健指導等のコーナーを設け、毎年多くの方に参加していただける催しとして定着しています。

【体育祭】　※体育祭は現在開催形式検討中につき実施されない場合もあります。

運動前は準備体操

玉入れ

バスケットボール

毎年好成績です！

【学園祭　短大企画　「口から始める介護予防」】

歯っピークイズ

お姉さんと歯磨き

学園祭をみんなで楽しもう

歯科衛生学科の模擬店

短大生のダンスを披露

８．学生の休息のための施設・空間、保健室、食堂、売店の設置の概要について

本学内には、120 名収容のコミュニティホール 1 があり、売店では、お弁当、サンドイッチやパン、おにぎり、カップ麺などの軽食やアイスクリーム、飲み物が購入できます。その他に、コミュニティホール 2（90 名収容）、コミュニティホール 3（60 名収容）、学生ホールがあり、学生ホールには、飲料、パンや菓子類等が購入できる自動販売機も設置されています。また、校舎の裏には「憩いの広場」があり、令和 2 年度末に老朽化していたベンチを新調し、気候の良い日には学生がベンチに座ってランチをしている光景も見られるようになり、桜の季節には地域の方々のお花見の場所として喜ばれています。さらに、令和 4 年 7 月に完成する記念講堂には学園内の学生全員が自由に利用することができるカフェテリアが設置される予定です。また、学園内の福岡歯科大学の体育館、グラウンド、テニスコート等も使用することができます。

９．学生寮の状況、下宿・アパート等の宿舎の斡旋体制、通学のための便宜の概要について

本学には学生寮は設置されていませんが、下宿・アパート・マンション等を希望する場合には、事務課から近隣の不動産業者を紹介して対応しています。通学のための交通機関として西鉄バス歯科大病院前バス停より徒歩 5 分､福岡歯科大学前バス停より徒歩 7 分､西鉄バス次郎丸団地バス停より徒歩 8 分、地下鉄次郎丸駅より徒歩 8 分の所要時間です。2022 年には地下鉄七隈線が博多駅まで延伸する予定で、交通の便が格段に良くなります。また、学内には 3 ヶ所の駐輪場と通学用の学生駐車場（30 台程度 年間使用料:15,000 円）を設置しており、多くの学生が自転車やバイク、自動車で通学しています。

１０．日本学生支援機構等の外部奨学金の取得状況及び本学独自の奨学金について

（１）外部奨学金

現在取り扱っている外部奨学金では「日本学生支援機構奨学金」（第一種、第二種）の受給者が最も多く、令和 3 年度実績は、第一種奨学金は歯科衛生学科 45 名・専攻科 3 名、第二種奨学金は歯科衛生学科 53 名・専攻科 2 名です。また、令和 2 年度からは、高等教育の修学支援新制度の対象大学として認定され、現在、歯科衛生学科 27 名・専攻科 4 名が受給しています。高等教育の修学支援新制度は、しっかりとした進路への意識や進学意欲があれば、家庭の経済状況に関わらず、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校に進学できるチャンスを確保できるよう、文部科学省が 2020 年 4 月からスタートした制度で、1.授業料の減免（入学金と授業料の免除または減額)、2.給付型奨学金（返還不要の奨学金）という 2 つの支援を合わせることにより安心して学んでもらおうというものです。本制度は、すべての大学、短期大学、高等専門学校、専門学校が対象となるわけではなく、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、一定の要件を満たすことの確認を受けて対象機関となることができます。

※詳細は https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm をご覧ください。

この他に、「山口県ひとづくり財団奨学金」、「ふくわ奨学金」等があります。

（２）本学独自の奨学金等

【福岡医療短期大学特別奨学生制度（返還不要)】

特別奨学生規則により、各学年若干名の学業成績優秀者に給付され、授業料の半額を免除されます。2、3 年次の特別奨学生は 7 月の学園記念日式典にて表彰されます。令和 2 年度実績は、歯科衛生学科 6 名でした。

１１．資格取得支援（介護職員初任者研修修了資格（令和４年度入学者から必修科目））について

歯科衛生学科では、卒業後、就職先での訪問歯科診療時における口腔保健管理に役立つよう 2 年次に口腔・全身介護論（介護研修Ⅰ.Ⅱ、口腔・全身介護論、口腔・全身介護技術）を学び、介護職員初任者研修修了資格を取得できるカリキュラムを実施しています。学生は、2 年次で学んだ成果を 3 年次の臨地実習（施設実習）で要介護者の口腔介護実習に活かします。

１２．進路支援について

【就職支援】

近年、一般的に、若年層の働くことに対する意識は多様化し、安易にニートやフリーターなどの道を選ぶ学生が比較的多くなってきていますが、本学は国家資格である歯科衛生士を養成する短期大学であるため、就職希望率および求人倍率・就職率はともに高い状況です。就職を支援するための組織として、就職支援担当教員に加え、事務課職員も協力して、学生が就職に関して相談できる体制をとっています。本学に来た求人票や求人情報を取り纏め、個々の学生の希望や問い合わせなどに対応するとともに、卒業生アドバイザーによるキャリアガイダンスを実施し、個別の就職相談や履歴書の添削、面接書類の作成および面接指導、学生の希望および適正を考慮しながら求人情報の提供や助言等のきめ細かな指導を行っています。

求人票や就職情報については、学生が閲覧することができるよう 1 階に設置している就職関連情報専用掲示板に掲示し、さらに詳しい情報については、求人票閲覧室で閲覧できる体制を整えています。また、インターネットを活用した就職情報収集のために、１階情報図書館分室や 2 階コミュニティホール 2 に学生専用パソコンを設置しています。

上記の取り組みは、文部科学省選定教育事業である平成 21～22 年度「大学教育・学生支援推進事業」就職支援推進プログラムの中で評価され、平成 25 年 3 月に就職支援の取組優秀大学として選定されました（全国 465 大学の中から、25 大学の選定状況でした）。

また、平成 22～23 年度『大学生の就業力育成支援事業』と平成 24～26 年度教育事業としての『産業界のニーズに対応した 教育改善・充実体制整備事業』の取組の中でも、産業界（企業や職場）のニーズに対応し、多職種と連携できる幅広い職業人養成にも重きを置いた就職支援を実施しました。

令和元年度からは、同年度から開始した学外の開業歯科医院での臨床実習の実習先歯科医院や企業等に参加を依頼して就職ガイダンスを開催し、学生の就職へのモチベーションアップに努めています。

【進学支援】

毎年 20 名前後の学生が本学専攻科へ進学しています。また、これまでに口腔歯学部（福岡歯科大学 2 年次）へ 4 名が編入学しています。編入学や留学等、進学希望者に対しては、学年担任、助言教員が相談に応じています。

１３．留学生・社会人・帰国子女・障害者の受け入れ状況及び学修支援・生活支援について

本学では、歯科衛生士の業務、資格については歯科衛生士法で定められた欠格事由がおかれているために若干の規制はありますが、学修意欲を増進させる取組を実施し、多様な適応能力の育成をめざし門戸を広げて受け入れています。これらの多様な学生に対しては、入学前より学年担任を中心に個別に対応できるよう、組織的な学修支援および生活支援を行っています。

また、近年は、入学者が少なくなっていますが、社会人の受け入れも積極的に行っています。

平成 30 年度～令和 4 年度　多様な学生の受け入れ状況　　（各年度 5 月 1 日時点）

種　別	30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	計
留学生（人）	0	0	0	0	0	0
社会人（人）	3	1	0	0	1	5
帰国子女（人）	0	0	0	0	0	0
障害者（人）	0	0	0	0	0	0

※ 社会人の定義（受験資格）： 本学出願資格のいずれかの条件を満たし、入学年 4 月 1 日現在満 22 歳以上で 1 年以上の社会人経験を有する者

１４．学生の表彰制度について

学科ごとに卒業式において表彰する理事長賞、学長賞を設けています。理事長賞及び学長賞は、「在学中、学業成績が優秀だった者」に対して授与しており、毎年、理事長賞は 1 名、学長賞は 1 ～2 名が受賞しています。これらの受賞者は、卒業式において記念品を添えて表彰されます。

１５．その他の支援

平成 16 年、東釜山大学校歯衛生科と本学歯科衛生学科は、アジアにおける歯科衛生士教育に関する情報交換と国際交流を目的に姉妹校協定を締結しました。これを機に平成 17～25 年度には、5 月に東釜山大学校 2 年次生が本学を、9 月には東釜山大学校歯衛生科主催の「デンタルサイエンスＤＰＣ」(The Dental Science DPC) の開会式に本学 3 年次生が参加し、互いに異文化の理解と同じ職種を目指す学生同士の交流を深めました。平成 26 年度は、9 月に同大学から教員を含め 37 名が来学し医科歯科総合病院等を見学し、本学学生との交流も深めました。現在は、韓国との関係や東釜山大学校が 2020 年に閉校となったため、研修旅行は国内で実施しており、近年は、研修先を東京とし、他の歯科衛生士養成校、東京都立心身障害者口腔保健センター、株式会社モリタ東京製作所にて研修を行いました。

【国内研修旅行：東京】

東京都立心身障害者口腔保健センターにて研修中

東京歯科大学短期大学・水道橋病院にて研修中